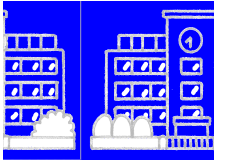


平成29年度後期『学校評価アンケート』ご協力ありがとうございました。学校評価の結果を報告いたします。

教育活動に関する後期の学校評価アンケートにご協力をいただきありがとうございました。この結果より、以下のように考察し、子どもたちのさらなるよりよい成長と学校生活のために改善をはかり、来年度の学校運営や教育活動に活かしていきます。また、様々な角度からのご意見やご感想をいただきありがとうございました。なお、書面でのご意見やその回答となるため、不十分な部分も多々あると思いますので

不明な点は、ぜひ、個別にご相談いただければ幸いです。よろしく願いいたします。その他にも、多くのお褒めの言葉をいただきましたことに感謝申し上げます。今後の教育の充実にむけ、努めていけるよう、保護者・地域の皆様には、これからもご理解とご協力の程をよろしくお願いいたします。



平成29年度 学校評価<後期>	児童		保護者		教職員	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
*表の数値はの'よくできている' '大体できている'の合計を到達度の'割合'で示しています。						
お子さんは、安心して楽しく学校に行っている。	92.0%	90.2%	96.7%	95.9%	100.0%	93.3%
お子さんは友だちにやさしくし、互いに気もちよく関わり、仲よく学校生活を送っている。	94.2%	91.7%	89.8%	94.7%	83.3%	86.7%
お子さんは、家や地域で進んであいさつしたり学校で取り組んでいる掃除について話したりしている。	93.1%	89.2%	68.8%	66.7%	91.7%	86.7%
学校は、子どもについて気軽に相談でき、適切に応じてくれる。	74.8%	67.9%	66.4%	69.3%	81.8%	93.3%
お子さんは、自分から考えをノートに書いたり発表したりし、授業が楽しいと言っている。	80.5%	73.2%	65.1%	58.0%	72.7%	86.7%
お子さんは、自分から読書したり本を使って調べたりしている。	78.1%	70.1%	70.9%	55.7%	72.7%	86.7%
お子さんは、「15分×学年」の家庭学習(宿題)の習慣が身についている。	86.2%	81.0%	71.0%	65.7%	72.7%	86.7%
お子さんは、学校のきまりや、安全のルールを意識し、守っている。	92.4%	97.1%	94.1%	95.7%	83.3%	64.3%
お子さんは十分な睡眠を取り、早起き 洗顔・歯みがきをし、朝ごはんを食べるなど基本的な生活習慣が身についている。	85.9%	84.0%	83.5%	84.0%	100.0%	93.3%
学校は、安全面における適切な配慮をしている。	96.3%	91.4%	90.8%	93.3%	90.9%	86.7%
上級学年への期待や希望を描いたり話したりすることがある。	87.3%	84.6%	60.6%	60.4%	63.6%	93.4%



『今後も伸ばしていきたいこと』

- * 子どもは学校のきまりや安全のルールを意識し守っている。
- * 学校は、安全面に配慮している。
- * 安心して楽しく学校に通っている。

『さらに取り組むべき課題』



- * 自分から読書したり本を使って調べたりしている。
- * 自分から考えを発表したり授業が楽しいと言ったりしている。
- * 子どもは、家庭学習の習慣が身についている。
- * 気軽に相談でき、適切に応じてくれる。

やさしく 【豊かな心】

1. 安心して楽しく学校に行っている。

児童・保護者、教職員共に実現度の割合は9割を超えたものの、減少傾向が見られ、課題と捉えています。全ての児童が学校へ楽しく通うために、「認められたい」「向上心や達成感を得たい」「安心・安全でいたい」ことを満たし、充実させていくことが学校の基本にあることを意識し、様々な教育活動を確認したいと考えます。さらに児童の言葉に耳を傾け、一人一人のよさや力が発揮できる教育活動を展開し、次年度へとつなげていきます。

2. 友だちにやさしく、互いに気もちよく関わり、仲よく学校生活を送っている。

子どもたちの姿から保護者・教職員の割合が増えたと捉える一方で、児童の実現度は、少々減少となりました。児童アンケートには、友だちとの関わりの楽しさや喜びの思いがたくさん書かれています。そのためか少しの行き違い等を厳しく自己評価している傾向が見られます。この思いを大切にしつつ、行き違い等が生じた時にどの様に解決し、互いに気もちよく関わり合うためにどうするかを考える事が大切であることを伝えていきたいと思います。併せて全校目標としている「～さんづけ」と「ことばづかい」に改めて取り組み、「～さん」と呼ぶ事は、誰もが公平にかけがえのない存在であること、丁寧なことばづかいは学級や学校の雰囲気や和ませ、落ち着いたものにする事を実感できるようにしたいと思います。学習では、「考え合う」「協力してやり遂げる」等のグループ学習を通して、個々を尊重し関わり合う共感の人間関係を育む機会を増やしていきます。

3. 家や地域で進んで挨拶したり、学校で取り組んでいる掃除について話したりしている。

今回、3者共に実現度が下がりました。「おはよう」「さようなら」をはじめ、子どもに対して「ありがとう」という感謝や「ごめんなさい」という謝りの言葉を伝えていよう教職員が率先垂範で行動し、当たり前挨拶の言葉が交わされる学校風土を高めていきたいと考えています。

4. 学校は、子どもについて気軽に相談でき、適切に応じてくれる。

前期と比べ、保護者・教職員の実現度は若干ながら増えましたが、児童の割合が7%弱程減少し、児童・保護者と教職員の実現度の差が大きい事は、深刻な課題として捉えています。約3割の児童が気軽に相談できないでいるのが現状です。担任をはじめ教員は真摯に児童の嬉しい事や困り事に寄り添い児童理解に努め、全教職員で、必要な相談はしっかり受け止めることができる存在になれるよう、研修などを通して意識や能力の向上に努めていきます。

かしこく 【確かな学力】

5. 自分から考えをノートに書いたり発表したり、授業が楽しいと言っている。

児童・保護者の実現度が前期より7%余り下がりました。教職員は意識して取り組んだ事で割合が増え、学習で児童の意欲的な発表やノートづくりの成果も見られます。しかしながら児童が厳しい自己評価をしている事から、児童の発表やノートづくりに対し、よさや成長を伝えることがさらに必要であると考えます。また、子どもたちの意欲的な発表やノートづくりについて見ていただく、伝えるといったことが不足しており、家庭学習も練習が主となり保護者の皆様へ実感していただく機会が少ないことが改善点だと考えます。個々の児童に応じた家庭学習の仕方について、改めて児童と共に考えたいと思います。また、児童がじっくり考える時間や状況、そして考えを表す方法等、さらに工夫し指導し、児童の考えを大切にする学習に取り組めます。

6. 自分から読書したり本を使って調べたりしている。

毎木・金曜日は、学校司書の先生が常駐し、児童の読書活動や利用しやすい図書室に努めました。また、子うま文庫の皆様へ工夫を凝らした読み聞かせの支援をいただいています。そのため、どの教室でも本を開き読みふける姿が見られます。そのような本に親しむ態度を育てよう、放課後や帰宅後に児童が本を開く時間を意識しつつ、読書や図書類を活用する家庭学習について検証し、全校で取り組んでいきたいと思っています。



7. 「15分×学年」の家庭学習の習慣が身についている。

児童・保護者の実現度が共に5%余り下がりました。日々の家庭学習状況は各学級ではほぼ実施できています。アンケート結果と実施状況より、家庭学習内容と時間を考えた時に「できている」とはいい難い評価となったのではと考えます。家庭学習は習慣化することが大事であり、そのために基本的な生活習慣を主に家庭生活のリズムから、帰宅後どの時間帯で勉強すればよいかを考え、この時間を毎日一定にし、習慣化を目指したいと考えます。ご家庭でも読書や家庭学習の時間を含めた生活リズムの点検や習慣化のご協力をお願いいたします。

たくましく 【健やかな体】

8. 学校のきまりや安全のルールを意識し守っている。

児童・保護者共に実現度が高まりました。児童自らが意識している事、また保護者の皆様にはきまりや交通ルールを守る児童の姿や行動を感じられている結果として嬉しいと思います。一方、「自らの命を守る」子の育成を目指す教職員は実現度が大きく下がりました。特に、今年度は、「北醍醐まなびのスタンダード(HP参照)」を据え、規範意識の育成に取り組んでいるため、時間やルールを守る事やろう下の歩き方における指導の不十分さを感じています。児童にルールを守る態度など規範意識に基づいた行動を身につける事は、児童に安心感を与える事だと教職員が改めて意識し、「北醍醐まなびのスタンダード」に取り組めます。

9. 子どもは、十分な睡眠を取り、早起き、洗顔、歯磨き

朝ごはんなどの基本的な生活習慣が身についている。

児童・保護者共に8割強でした。児童の実現度は、若干下がったものの、就寝時刻が遅い事、朝の排便ができていない事を、児童自らが意識した結果です。全校でも、7時までに起きている児童が多く、朝ごはんを食べる事も定着しており、北醍醐校区の大事な文化でもあります。就寝時刻の遅さと朝の排便、朝の歯磨きができていい状況があります。児童が基本的な生活習慣を意識し身につけるよう、さらに健康観察を柱に取り組めます。ご家庭でも基本的な生活習慣の定着にむけ、ご協力をお願いします。



10. 学校は安全面における適切な配慮をしている。

児童・教職員の実現度が4%強下がりました。上記「8」の項目とも関わり、児童の学校のきまりやルールの意識と行動が高まっている一方で、児童は「安全に気をつけて安心して活動している。」かと問われれば、まだまだ予測がつかなかったり気持ちが急ぎ安全確認を忘れていたりということから厳しく自己評価していると考えられます。教職員は、児童のこのような状況から危険予測や安全確認の意識を高めていく事が必要であると考えています。「自分の命は、自分で守る」を目指し、取り組んでいきます。

学校生活全体に関わるご意見について

休日に行われる体育的催しについてご意見をいただきました。従来通りに部活動や各記録会などに本校も参加していますので、今後も継続して取り組んでまいります。

下校後の安全面でご連絡(川に入って遊ぶ)をいただきました。各学級で安全指導をいたしました。ご家庭でも注意をお願いいたします。

放課後の運動場使用についてお尋ねがありました。放課後の運動場や体育館の管理は、地域の体育施設管理委員会が担っておられます。詳しくは、個別に学校までお尋ねください。

相談できる学校にしてほしいというご意見をいただきました。大変申し訳ないことです。誰もが気軽に相談できる学校となれるよう、努力してまいります。

トイレの環境についてご意見をいただきました。誰もが気持ちよく使用できるトイレであるよう衛生管理に努めると共に使用する側のマナーについても指導を重ねてまいります。給食を工夫してほしいというご意見をいただきました。これは京都市全体の内容なので、個別に詳しくご意見をいただければ有難いです。

アップタイムについてご意見をいただきました。従来は持久力の向上を目指した取組でした。本年度からは、本校児童の体力実態に合わせた運動内容に変更しております。その成果は、日頃の体育や部活動、各記録会などで発揮してくれればと思います。

子どもたちの挨拶の声が小さいのではないかと感想をいただきました。気持ちのよい挨拶が出来るよう指導を重ねてまいります。

虫刺されに対するご意見をいただきました。外遊び中など、学校の対応では十分に防ぐことができない点もあるため、個別にご相談いただければと考えます。